



## 外国出張報告書

平成 27 年 1 月 21 日

1. 出張国名       マレーシア
2. 出張月       平成 27 年 11 月
3. 出張目的       1. CP との択伐林データの共同解析、経済評価の資料収集、成果公表の打合わせ  
                  2. エンリッチメント植栽木の毎木調査と試験地整備：C

#### 4. 成果の概要

1. 伐採履歴の異なる複数の択伐林分において解析を進めたところ、攪乱地は期首の現存量が少ないために非攪乱地の回復年数よりも回復に時間がかかることがわかった。エンリッチメント植栽の経済評価のための資料整理をおこない、各要因の統合のための作業をおこなった。ワークショップ開催のための実行委員会を実施してカウンターパートと役割分担等を決めた。ワークショップの講演を取りまとめた学術誌 (JTFS) の特集号の編集進行管理をおこなった。
2. *A. mangium* - *S. parvifolia* 植栽区画における炭素蓄積量は 11Mg/ha 相当であると考えられ、そのうち 23% を立ち枯れ死亡木が占めていることから、死亡木の炭素プールとして重要性が確認された。